

インフルエンザ 流行警報

市内における第 46 週(11/10～11/16)のインフルエンザ定点あたり報告数が 44.33 となり、警報レベル（基準値 30）を上回りました。昨シーズンより 5 週早く警報基準を上回っており、流行の早期拡大が認められます。

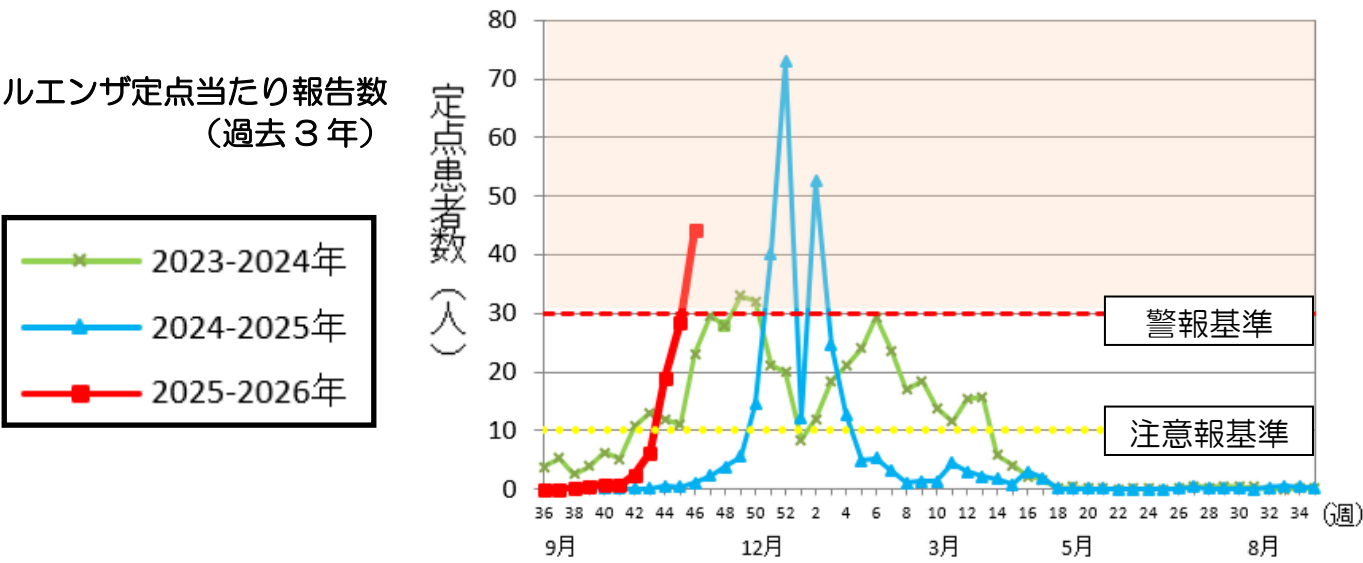
第 44 週以降は 15 歳未満の患者が多く報告されていますが、成人層にも広がっており、一定数の報告があります。さらに入院サーベイランスでは、小児と高齢者において患者の増加が見られます。

学校サーベイランスにおいては、第 46 週から未就学児の報告が増加し、第 47 週に入っても多数の学級閉鎖や園児の欠席が確認されており、今後さらなる感染拡大が懸念されます。

ウイルスサーベイランスでは、AH3 亜型が多く検出されていますが、B 型（ビクトリア系統）も複数確認されています。

つきましては、引き続きサーベイランス動向の把握に努めていただくとともに、診療体制の整備及び院内感染対策の徹底をお願いいたします。

■インフルエンザ定点当たり報告数  
(過去 3 年)



■インフルエンザ発生状況 (週別報告数比較表)

週数		定点当 患者数	報告 総数	学校サーベイ (施設数)					ウイルスサーベイ		入院 サーベイ
				幼稚園 こども園	小学校	中学校	高校	計	AH3 亜型	B 型 ビクトリア 系統	
44 週	10/27 ～11/2	18.83	226		5	-	-	5	4	-	2
45 週	11/3 ～9	28.58	343		11	1	3	15	6	-	6
46 週	11/10 ～16	44.33	532	4	20	8	1	33	4	3	9
47 週	11/17 ～23			3	13	6	1	23			

学校サーベイは 11/19 現在の速報値